

2019年度 和歌山市立小倉小学校 学校運営計画書(スクールプラン)

校長名 嶋田裕子

作成日 2019年 4月 1日

和歌山市学校教育指針

- ◇ 確かな学力の育成
- ◇ 道徳教育の充実
- ◇ 健やかな体の育成
- ◇ 特別支援教育の充実
- ◇ 不登校・いじめ問題の解消
- ◇ 子供の安全確保の徹底
- ◇ 地域とともにある学校づくりの推進

保護者・地域の願い

- ・基礎学力の修得
- ・子供の健やかな成長
- ・地域交流の推進
- ・情報の積極的発信

【学校教育目標】

豊かな心情を持ち、よく考え、健康できまりある行動のできる子を育てる

【めざす児童(生徒)像】

- ・豊かな心を持ち、みんなで仲良くする子
- ・進んで学び、よく考える子
- ・心身とも健康で、生き生きした子

前年度の学校評価

教育目標は、学校・児童・地域にとって適切である。学校は、教育目標実現に向けて、すべての教育活動のなかで児童の「生きる力」の育成に努力している。また、学校は保護者・地域との連携にも力を入れ、着実に取り組みを進めている。

児童(生徒)の実態

恵まれた自然環境と落ち着いた地域や家庭の環境の中、純朴純真に育っている子が多く、人懐っこく、優しく親切な面がよく見受けられる。
学校訪問者からは、真面目に学習に取り組む態度が身についた、明るく元気な子どもたちであるという評価を頂いている。

重点目標

確かな学力の向上
◎基礎学力の充実
・言葉の力の育成
・教員の授業力向上

豊かな心の育成
◎挨拶のできる子の育成
・道徳教育の充実
・障がい者、高齢者との交流活動の推進

健やかな体の育成
◎運動に親しむ習慣づくり
・食育の推進
・保健教育の充実
・危機回避能力の育成

地域とともにある学校
◎学校開放の推進
・地域行事への参加協力
・地域先達等ボランティアの活用

具体的な取組

・一人一人の学力把握に努め、個に応じた指導を進める。
・基礎・基本的な学力の定着のため、補充的な学習を行う。
・音読、暗唱、視写などの活動を学習に取り入れ、言葉の力の育成を図る。
・国語科の授業研究を糸口に、授業力の向上を図る。

・あいさつや掃除等の基本的生活習慣について、徹底して指導する。
・生活点検活動を行い、規律ある生活習慣を身につける。
・読書習慣の定着・充実のための取り組みを行う。
・「特別の教科 道徳」の教材研究を進める。
・障がい者、高齢者施設や地域団体との交流を進める。

・体育の授業の充実を図り、チャレンジランキングに参加するなど児童が運動に親しむ環境の整備に努める。
・学校給食等と関連つけた効果的な食に関する指導を進める。
・心身の健康課題に対応するため、学校保健を充実する。
・避難訓練や交通安全教室を計画的に行い、危機回避能力の育成に努める。

・学校だよりやホームページ等により、学校から地域への情報発信に努める。
・地域先達ボランティア、図書館ボランティアなど、の地域人材を活用した取組を進める。
・地域の関係諸団体に、学校行事等に積極的に参加や協力を依頼していく。

指標

全国学力調査・県学習到達度調査において、県平均を上回る。

学校が楽しいと感じる。
(児童90%)

積極的に運動を行える環境を整え、実践する。
(教師90%)

学校の情報発信についての保護者評価(90%)

◎：特に重点的に取り組むこと